

科目名	文化財保存論	英語科目名	Conservation of Cultural Assets	
開講年度・学期	平成 25 年度 前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻・建築学コース2年	
授業形態	講義＋演習	必修 or 選択	選択	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位(15+30 時間単位)	
担当教員	豊川斎赫	居室（もしくは所属）	建築学科棟 2 階 サインスタジオ内	
電話	0285-20-2834	E-mail	toyokawa-s@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標		授業達成目標との対応		
		小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
		① ⑤	C-2, E-3	b, d(2-a)
		⑥	D-2	d(2-c)
文化財保護, 建築再生の概要が説明できる		① ⑤	C-2, E-3	b, d(2-a)
地元の文化財や歴史的町並みの現状を説明できる。		⑥	D-2	d(2-c)
文化財保護, 建築再生の創造的提案ができる。		① ⑤	C-2, E-3	b, d(2-a)
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1: 文献調査の発表内容を設定水準で評価する				
達成目標 2: 実地調査の発表内容を設定水準で評価する				
達成目標 3: 提案課題に対する提案書の内容を設定水準で評価する				
評価方法				
評価は下記のことを考慮して総合的に行う。				
1. 文献調査課題の内容(20%)				
2. 実地調査課題の内容(20%)				
3. 提案課題の内容(60%)				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 伝建地区と文化財保存について	参考資料の通読		4	
2. 文化財保存に関するワークショップ参加(4回ほど)	地元 NP0 ワークショップにおける課題の整理		16	
3. ワークショップをふまえた実地調査(4回ほど)	地元文化財や再生を必要とする建築の調査レポートの作成		16	
4. 文化財保存, 建築再生の既往研究調査(2回ほど)	文化財保存, 建築再生の既往研究調査		8	
5. 実地調査の整理と発表	資料作成と発表		16	
			自学自習時間合計	60
キーワード	都市計画、地域計画、建築計画			
教科書				
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築史			
現学年の関連科目	まちづくり論、近代建築思潮史、地域設計2			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
シラバス作成年月日	平成24年2月7日			